

資料 1 - 9

府中市基地跡地留保地利用計画検討協議会等の日程について（案）

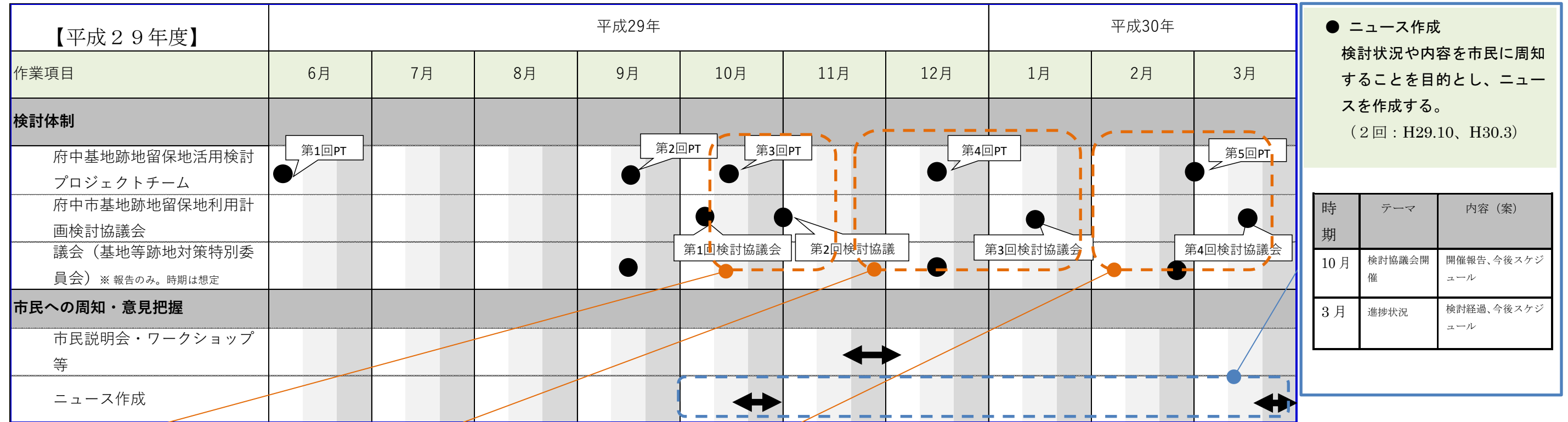
年度	検討等を 予定する項目	利用計画 への記載	協 議 会	PT	備考
H29	事前準備				第2回協議会と第3回協議会（第4回PT）の間に、ワークショップ等を予定
	事前準備	—	—	第1回	
	検討体制・スケジュール	×	第1回	第2回	
	現状の把握				
	優位性・課題の把握	○	第2回	第3回	
	土地利用の方針・方向性				
	土地利用目標（コンセプト）	○	第2回	第3回	
	土地利用方針	○	第2回	第3回	
	土地利用の導入機能	○	第3回	第4回	
	土地利用の具体化	○	第3回	第4回	
	ゾーニングの方向性				
	ゾーニング条件（配置施設規模、配置条件）	○	第4回	第5回	
ゾーニングシミュレーション	○	第4回	第5回		
H30	ゾーニングの方針	○	第5回～ 第10回	第6回～ 第11回	「利用計画案」として、とりまとめ
	整備の方針・方向性等				

※その他、同時期に策定を進める、立地適正化計画等との調整を随時行います。

※「利用計画の記載」については、○は検討及び記載、×は検討のみを想定します。

回数	協議会	PT
第1回	平成29年10月12日	平成29年6月5日
第2回	平成29年11月上旬	平成29年9月15日
第3回	平成30年1月中旬	平成29年10月中旬
第4回	平成30年3月中旬	平成29年12月中旬

※時期は目安とし、委員各位と調整の上で開催します。第5回以降は、今後調整とします。



現状の把握

● 優位性・課題の把握

土地利用に係る検討を行うにあたり、府中市及び留保地が抱える優位性・課題など、検討にあたり把握及び考慮が必要な事項について改めて整理し把握する。

土地利用の方針・方向性

● 土地利用目標（コンセプト）、土地利用方針

市民ニーズや行政需要等を整理し、テーマ別に分析を行った上で留保地の特徴を示す一方で、テーマに関わらず共通して解決していくべき方針を示し、留保地の土地利用目標（コンセプト）、土地利用方針を定め、具体的な導入機能選定につなげる。

PT	第3回
協議会	第2回

土地利用の方針・方向性

● 土地利用の導入機能

土地利用目標（コンセプト）、土地利用方針に基づき、導入すべき機能の方向性を検討し、導入機能の検討を行う。

● 土地利用の具体化

土地利用の具体化を目的とし、土地利用の機能導入について、留保地内を各ゾーンとして区分する各々の名称を含めた具体化を図る。

PT	第4回
協議会	第3回

ゾーニングの方向性

● ゾーニング条件（配置施設規模、配置条件）

具体化された土地利用について、導入する機能の施設規模や配置条件を整理し、「ゾーニング条件」としてまとめる。

● ゾーニングシミュレーション

ゾーニング条件に基づく複数のシミュレーションを行い、各パターンにおけるメリットや課題を整理の上、ゾーニング方針の検討につなげる。

ゾーニング条件（イメージ）	
配置条件	・ 静穏な住環境に配慮するため□□ゾーンは北側もしくは西側に配置 ・ 駅とのアクセス性を考慮 ・ 駅となる△△△ゾーンは周辺との連携を考慮し、配置 ・ 交通発生量の多い○○○ゾーンは南側に配置
想定されるゾーンの規模	○○○ゾーン：●～●ha △△△ゾーン：●～●ha □□□ゾーン：●～●ha

ゾーニングシミュレーション（イメージ）			
ゾーニング案	ゾーニングA	ゾーニングB	ゾーニングC
特徴	均等配置型	○○○ゾーン集中型	△△△ゾーン特化型
規模	○○○ゾーン：△ha △△△ゾーン：△ha □□□ゾーン：△ha	○○○ゾーン：△ha △△△ゾーン：△ha □□□ゾーン：△ha	○○○ゾーン：△ha △△△ゾーン：△ha □□□ゾーン：△ha
シミュレーション結果図			

ゾーニング方針（イメージ）	
配置条件	・ 静穏な住環境に配慮するため□□ゾーンは北側に配置 ・ 駅とのアクセス性を考慮 ・ 駅となる△△△ゾーンは中央に配置 ・ 交通発生量の多い○○○ゾーンは南側に配置
ゾーンの規模	○○○ゾーン：●ha △△△ゾーン：●ha □□□ゾーン：●ha

PT	第5回
協議会	第4回

※ 検討状況により、内容を見直すことが想定されます。